

**2011（平成23）年7月26日
作家莫言VS弁護士坂和章平 対談
通訳 毛丹青**

**【別レジメA】 莫言対談のために
弁護士坂和が影響を受けたこんな本、あんな本
（レジメの記載以外に思いつくまま、順不同）**

- | | |
|--|---|
| <p>1 五味川純平
『人間の条件』（1956～58年）
『戦争と人間』（1965～82年）
55年に発表した『人間の条件』は1300万部を超える大ベストセラー</p> | <p>・1964年、浜田光夫・吉永小百合
・1971年、朝比奈逸人・小野里みどり
・1975年、三浦友和・山口百恵
・1985年、鶴見辰吾・堀ちえみ
その後今日までないのはなぜ？若者の文学離れ？大スターの不在？</p> |
| <p>2 松本清張
『点と線』（1958年）
『ゼロの焦点』（1959年）
『砂の器』（1962年）</p> | <p>『金閣寺』（1956年）
『サド侯爵夫人』（1965年、戯曲）
『豊饒の海』（1965～70年）
(4部作「春の雪」「奔馬」「暁の寺」「天人五衰」)</p> |
| <p>3 司馬遼太郎
『竜馬がゆく』（1962年）
『国盗り物語』（1963年）
『燃えよ剣』（1964年）
『坂の上の雲』（1968年）
『街道をゆく』（1971年）</p> | <p>7 川端康成
『伊豆の踊り子』（1926年）
何度も映画化されているのはなぜ？
・1954年、美空ひばり・石濱朗
・1960年、鰐淵晴子・津川雅彦
・1963年、吉永小百合・高橋英機
・1967年、内藤洋子・黒沢年男
・1974年、山口百恵・三浦友和
その後なし。上記『潮騒』と同じ問題？</p> |
| <p>4 柴田翔
『されどわれらが日々』（1964年）
『贈る言葉』（1966年）
『鳥の影』（1971年）
『立ち盡す明日』（1971年）
『われら戦友たち』（1973年）</p> | <p>『雪国』（1935～48年）
天神橋の料亭「相生楼」に生誕の地の碑あり</p> |
| <p>5 高橋和巳
『悲の器』（1962年）
『我が心は石にあらず』（1964年）
『邪宗門』（1965年）
『憂鬱なる党派』（1965年）</p> | <p>8 山本周五郎
『正雪記』（1953～54年、56年）
『縦の木は残った』（1954～58年）
『赤ひげ診療譚』（1958年）
黒澤明監督『赤ひげ』（1965年）
『五瓣の椿』（1959年）
岩下志麻主演で映画化（1964年）</p> |
| <p>6 三島由紀夫
『仮面の告白』（1949年）
『潮騒』（1953年）
一番好きな小説は『潮騒』。それはなぜ？
何度も映画化されているのはなぜ？
・1954年、久保明・青山京子</p> | <p>9 ドストエフスキー
『貧しき人々』（1846年）</p> |

- 『地下生活者の手記』(1864年)
 なぜマイナーな『地下生活者の手記』
 を読んでるの？
- 『罪と罰』(1866年)
 『白痴』(1868年)
 『悪霊』(1871年)
 『カラマーゾフの兄弟』(1880年)
- 10 トルストイ
 『戦争と平和』(1864～69年)
 ヘップバーンのハリウッド版vsロ
 シア版2部作(まさに超大作！)
- 『アンナ・カレーニナ』(1873～77年)
- 11 フランス文学の新星！レイモン・ラ
 ディゲ
 『肉体の悪魔』(1923年)
 『ドルジェル伯の舞踏会』(1924年)
- 12 五木寛之
 『さらばモスクワ愚連隊』(1967年)
 『内灘夫人』(1969年)
 坂和はなぜ『内灘夫人』にハマったの？
 『デラシネの旗』(1969年)
 『青春の門 筑豊篇』(1970年)
 『青春の門 自立篇』(1971～72年)
 『青春の門 放浪篇』(1973～74年)
 『青春の門 墮落篇』(1976～77年)
 『青春の門 望郷篇』(1979年)
 『青春の門 再起篇』(1980年)
 『青春の門 挑戦篇』(1993年)
 『戒厳令の夜』(1976年)
 『四季・奈津子』(1979年)
 『四季・波留子』(1987年)
 『四季・布由子』(1992年)
 『四季・亜紀子』(2000年)
 『蓮如物語』(1995年)
 『親鸞 上・下』(2009年)
- これら2作は未読(親鸞研究者たる毛
 さんの見方は？)
- 13 村上春樹の評価は？
 『ノルウェイの森』(1987年)は？
 『1Q84』(2009年・2010年)は？
- 14 渡辺淳一
 『化粧』(1982年)
 『ひとひらの雪』(1983年)
 『化身』(1986年)
 『別れぬ理由』(1987年)
 黒木瞳を発掘
 『失楽園』(1997年)
 日本で一大ブームに
 『泪壺』(2001年)
 映画化(シネマ19・383頁)
 『愛の流刑地』(2006年)
 これも一大ブームに
 中国では村上春樹と並ぶ不倫小説の
 大家として有名。
 1959年、医師免許取得
 1970年、作家専業
 中国での加熱する人気を訴訟沙汰を
 引き起こしている。著作6冊を無断出
 版されたことによる著作権侵害を理
 由に、08年夏に出版社を相手として
 提訴。
- 15 マンガ
 江川達也『日露戦争物語』
 かわぐちかいじ『沈黙の艦隊』